



市議会だより



関野町餅つき保存会の皆さんによる正月イベント(江戸東京たてもの園にて)

2年連続 一般会計決算を不認定

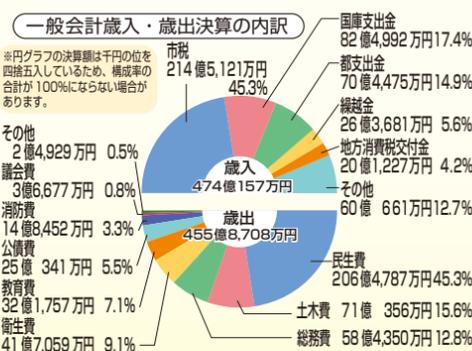
西岡市長が再選 市議会議員補欠選挙で2名が初当選

第4回定例会の概要

令和元年第4回定例会(五十嵐京子議長)は、11月1日に開会し、1日間の会期延長を経て、11月30日に閉会しました。なお、小金井市長選挙に立候補するため、10月31日付けで河野律子議員、11月8日付けで森戸洋子議員が辞職したため、今定例会において2人欠員(定数24人)となりました。

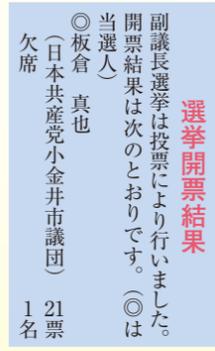
平成30年度歳入歳出決算について

本件は、第3回定例会及び第4回定例会(11月7日、11日)の計8回にわたり決算特別委員会(岸田正義委員長)において審査を行いました。(討論は2面、特集ページは8面に掲載)
11月29日の本会議において、一般会計は、起立採決の結果、起立少数により不認定としました。また、4つの特別会計(国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計)を認定しました。



副議長に板倉真也議員を選出

森戸洋子議員が辞職し、副議長が空席となったため、11月11日に副議長の選挙を行いました。投票の結果、板倉真也議員(日本共産党小金井市議団)を選出しました。(就任あいさつは4面に掲載)



第2回臨時会の概要

令和元年第2回臨時会(五十嵐京子議長)は、12月24日に開会し、1日間の会期延長を経て、12月25日に閉会しました。この臨時会は、令和元年12月8日に行われた小金井市長選挙及び小金井市議会議員補欠選挙後、初めて開催された議会です。

冒頭、西岡真一郎市長の再任挨拶が行われ、その後、委員会等の委員構成を一部変更しました。また、小金井市長選挙の立候補者に対する選挙管理委員会の対応について、3名の議員が緊急質問を行いました。さらに、本件について市議会として監査委員に監査を請求する提案をし、採決の結果、原案のとおり可決しました。

小金井市議会議員補欠選挙後の議会構成や各議員の連絡先等は4面に掲載しています。

令和元年第4回定例会日誌

日	内容
1日	本会議(議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・採決)
7日	本会議(議案の審議・委員会付託)
8日	本会議(一般質問)
11日	本会議(一般質問、陳情の委員会付託)
13日	建設環境委員会
14日	厚生文教委員会
15日	建設環境委員会
18日	議会運営委員会
19日	総務企画委員会
21日	予算特別委員会
26日	厚生文教委員会
27日	厚生文教委員会
29日	本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決、会期の延長)
30日	本会議(議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)
令和元年第2回臨時会日誌	
24日	本会議(議員提出議案の審議・採決、会期の延長)
25日	本会議(議員提出議案の審議・採決)

日曜議会を開催します

平日に傍聴へ来られない方にも議会の様子を知っていただくため、日曜議会を開催します。当日は、市長の施政方針に対する質疑を行いますので、ぜひお越しください。

日時 2月23日(日)午前10時から
場所 議場(市役所本庁舎4階)
その他 手話通訳を行います。



審議した主な議案

平成30年度一般会計 歳入歳出決算の認定について

決算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

沖浦あつし(みらい)

生産年齢人口の減少を抑制し、市税歳入の確保、行財政改革、人材育成、基金積み増しと、地方債の返済が中長期的に大切である。本市では子どもの人口が今後5年で約2割増と多摩地域トップに、来年は平均年齢が44・1歳と多摩地域で一番若いまちになるとの東京都の人口推計があり、子育て世帯に選ばれているまちとして客観的評価を受けている。高齢者福祉へ更に注力できる持続可能な市政運営の好循環を生む基盤づくりの決算年度となっており、賛成する。

反対討論 (要旨)

湯沢綾子(自民党・信頼)

決算年度を一言で言うと、市のコンプライアンスが問われる一年であった。数々の事務上のミスが発覚し、対応も遅れた。会計処理の方針が決められないまま継続審査となったことは、議案提出の姿勢そのものが問われる。法的整理のために本来業務に支障を来せば、大きな損失である。関係部署と適切な連携がなされるよう、トップからも指示を出すべきであった。今後は、コンプライアンスの推進、また万一問題が生じた際の対応についても見直すべきである。

反対討論 (要旨)

宮下 誠(公明党)

平成30年度は、西岡市長の政治姿勢を象徴する年度であった

と言える。まず、職員の勤勉手当の増額予算について、提案・削除・復活提案と続き、その分かりにくい財政運営は市民を欺く結果となった。また、社会福祉委員への報酬誤支給問題では、脆弱な内部統制の実態が発覚した。さらに、市長就任年度で、59億円だった人件費は年々増大し続け、今年度予算で63億7千万円を組む事態に陥っている。まさに、人件費の増大を顧みない放漫経営であった。

反対討論 (要旨)

水上洋志(日本共産党)

反対の理由の第一は、市民生活に冷たい決算であるからである。第二に、多額の繰越金の一方、市民犠牲の行革が行われ、結論ありきの進め方であるからである。第三に、大型開発優先の税金の使い方になっているからである。第四に、学務課職員の会計事務処理問題は、解決のための法的整理がつかず継続審査となる事態となり、市長自身の法令遵守の責任が問われているからである。第五に、無責任な公約を掲げた市長の責任が厳しく問われるからである。

反対討論 (要旨)

田頭祐子(生活者ネット)

職員による学校の光熱水費などの立替払があり、誰も気付かずその金額は決算書に載らなかつた。このような不完全な決算は当然認定できない。この不適切な会計事務処理は、不適切な職員配置に端を発していたと考える。職員の能力をいかすため、年度途中での配置換えもタブーとしない適材適所の配置と、ヘルプを出せる風通しの良い職場

環境が必要である。不適切な事務執行や会計処理のミスは、市民の行政への信頼を損なう。緊張感ある事務執行を求める。

令和元年度一般会計 補正予算(第7回)

11月27日の本会議において予算特別委員会(遠藤百合子委員長)に付託し、同日の委員会では審査を行いました。

補正予算の主な内容は、学校管理費における不適切な会計事務処理問題において、当該元職員が私費で支払った費用の請求に応じるための、事務管理に係る返還金(光熱水費及び電話料)を含む「教育委員会事務局事務に要する経費」(92万7千円)を計上するものです。

反対討論 (要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

11月29日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

反対討論 (要旨)

渡辺大三(情報公開)

この問題において市が行うべきことは、水道局や電話会社に對して、自ら債務を弁済する方針を講じていることであつた。しかし、その努力の痕跡は全く見受

けられない。当該元職員が水道局や電話会社の費用の返還を求めるのは、証拠書類を自ら廃棄したため、難しいのではないかと、これは自業自得である。そこで、市当局が、状況証拠のみで当該元職員に対して支払うスキームを構築したのではないかと。市当局と当該元職員の「なれ合い」が感じられる。

賛成討論 (要旨)

板倉真也(日本共産党)

現行の都市計画マスタープランは、前市政時代に策定されたものである。その後新たな市長が誕生したのであれば、自らの政策意思に従って、計画の見直しを行うことは当然で、あり得るものである。しかし、前市政時代に策定された計画に寄り掛かり、その計画の範囲内で物事を考えていく。これが西岡市長のスタンスとなっている。日本共産党小金井市議団は、小金井市の貴重な自然環境と生態系を守り抜くために全力で奮闘する。よって賛成する。

賛成討論 (要旨)

鈴木成夫(みらい)

小金井市は、終戦直後に上皇陛下がお暮らしになり、皇室とは深いご縁がある。ご即位をお祝いする気持ちは多くの市民と変わらない。しかし、市議会が陛下に関する内容を取り扱う場合は全会一致が望ましく、異論が出てしまう状況は陛下に失礼と考える。第3回定例会で提案

賛成討論 (要旨)

天皇后陛下御即位奉祝「賀詞」決議に関する陳情書

「賀詞」決議に関する陳情書

されようとした同様の決議は、提案会派以外から疑義が出され取り下げられた経過もあつた。祝意は個人的問題であり、多様な価値観を持つ市民の付託を受けた市議会が賀詞を贈ることはなじまない。

反対討論 (要旨)

坂井えつ子(緑・つながる)

天皇のご即位について、市民にも議員にもお祝いの気持ちを持たう一方、信教や思想等の理由で、淡々と受け止めていく方、あるいは抵抗感のある方もいる。天皇のご即位に対するお祝いについて、それぞれの気持ちや立場は尊重されるべきであり、憲法19条の「思想及び良心の自由」にも関わると考える。多様な市民の信託を受けた多様な議員がいる市議会が、賀詞決議をあげることは適切ではないと考えていることから、本陳情に反対する。

**市議会の情報を
ツイッターで発信します**

令和2年1月から、小金井市議会のツイッターの運用を開始しました。本会議や各委員会等の開催、進行、内容に関する情報等を発信しています。

左記のQRコードから、小金井市議会のツイッターにアクセスできますので、ぜひご覧ください。



議員提出議案をホームページで公開します

令和元年第4回定例会から、議員提出議案(条例、意見書、決議等)の市議会ホームページでの公開を開始しました。パソコンやスマートフォン等でご覧いただけます。

引き続き審査する案件

厚生文教委員会
1月14日(火)午前10時
▶ 小金井市子どもの権利に関する条例の一部を改正する条例 ▶ (仮称)スポーツ振興審議会の設置を求める陳情書 ▶ スポーツ関連3施設に設置されている自販機の収益の公平な分配を求める陳情書 ▶ (公財)小金井市体育協会理事による不正受給金返還の確認を求める陳情書 ▶ 福祉的視点から、母子・父子自立支援員(兼婦人相談員)体制の充実と、非常勤化体制の検証を求める陳情書 ▶ 小金井市保健福祉総合計画に関する諸問題の調査 ▶ 子ども施策に関する諸問題の調査 ▶ 社会教育施策に関する諸問題の調査

議会運営委員会
1月29日(水)午前10時
2月14日(金)午後2時
▶ 小金井市議会議員定数条例の一部を改正する条例 ▶ 議員定数に関する公聴会の議論を踏まえ小

金井市議会は市民意思の代弁者が判定者かまず明らかにしていただくこと等を求める陳情書 ▶ 議会改革に関する諸問題の調査 ▶ ①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

総務企画委員会
2月3日(月)午前10時
▶ 公文書管理条例の制定を求める陳情書 ▶ 自動車等の「武蔵野ナンバー」及び「デザインナンバー」導入に向けた検討を求める陳情書 ▶ 財務会計ルールの全庁的な見直しと不祥事等非違行為があつた際の危機管理の在り方の改善を求める陳情書 ▶ 東小金井駅北口まちづくり事業用地の活用に向けて整備基金の創設を求める陳情書 ▶ 次世代を生きる市民の為の「行政サービスのあり方」についての陳情書 ▶ 平成29年市議会議員選挙で、立候補者が市の指定管理である施設の名簿を

選挙活用した事が法令に照らし適正だったかの検証陳情書 ▶ 都選管の収支報告書に記載されている寄附の事実解明を求める訴え陳情書 ▶ 小金井市公共施設等総合管理計画の進捗状況と方針についての諸問題の調査 ▶ 地域防災、減災及び被災者支援についての諸問題の調査

行財政改革推進調査特別委員会
2月12日(水)午前10時
▶ 行財政改革のさらなる推進に向けて、事務事業評価シートの速やかな作成を求める陳情書 ▶ 行財政改革の推進に係る諸問題の調査

建設環境委員会
▶ 駅周辺整備に関する調査 ▶ 市内都市計画、自然環境及び住環境に関する調査 ▶ 資源循環社会形成に関する調査

庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会
▶ 庁舎及び福祉会館建設等に係る諸問題の調査

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

議案の審議結果		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず） ／：議員辞職のため採決には加わらず（※1） -：議員として在籍せず（※2）															議決結果									
		付託先	自	公	み	共	お	会	情	改	ネ	市	緑													
付託先略称	即：委員会付託を省略し本会議で採決	清水がく	湯沢綾子	五十嵐京子	遠藤百合子	渡辺ふき子	小林正樹	紀由紀子	宮下誠	村山ひでき	鈴木成夫	岸田正義	沖浦あつし	水上洋志	たゆ久貴	板倉真也	森戸洋子	白井亨	齋藤康夫	渡辺大三	篠原ひろし	田頭祐子	片山薫	坂井えつ子		
平成30年度小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について		決	×	×	議	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	／	×	×	×	△	×	×	×	不認定	
平成30年度小金井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	／	○	○	×	○	×	×	×	認定	
平成30年度小金井市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成30年度小金井市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成30年度小金井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	／	○	○	○	○	×	×	×	認定	
令和元年度小金井市一般会計補正予算（第6回）		予	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	／	○	○	○	○	○	×	○	原案可決	
令和元年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）		予	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和元年度小金井市下水道事業特別会計補正予算（第2回）		予	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和元年度小金井市介護保険特別会計補正予算（第2回）		予	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例		総	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市手数料条例の一部を改正する条例		総	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
小金井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市道路占用条例の一部を改正する条例	建	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市立公園条例の一部を改正する条例	建	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市下水道条例の一部を改正する条例	建	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市下水道事業の設置等に関する条例	建	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	／	○	○	×	○	○	×	○	○	○	原案可決
令和元年度小金井市一般会計補正予算（第7回）		予	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	／	○	×	×	△	○	×	○	○	原案可決
小金井市民交流センターの指定管理者の指定について		総	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
損害賠償の額を定め、和解することについて		即	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小金井市議会運営委員会条例の一部を改正する条例(議員提案)		即	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第2回臨時会	小金井市議会運営委員会条例の一部を改正する条例(議員提案)	即	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	小金井市選挙管理委員会による不正な公職選挙法解釈事件に係る監査請求について(議員提案)	即	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	△	○	○	○	原案可決

※1 森戸洋子議員については、議員辞職をする前までの採決態度を掲載しています。
 ※2 清水がく議員と水谷たかこ議員については、選挙後となる第2回臨時会より採決態度を掲載しています。

請願・陳情の審議結果		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）															議決結果									
		付託先	自	公	み	共	お	会	情	改	ネ	市	緑													
件名	要旨	吹春やすたか	湯沢綾子	五十嵐京子	遠藤百合子	渡辺ふき子	小林正樹	紀由紀子	宮下誠	村山ひでき	鈴木成夫	岸田正義	沖浦あつし	水上洋志	たゆ久貴	板倉真也	森戸洋子	白井亨	齋藤康夫	渡辺大三	篠原ひろし	田頭祐子	片山薫	坂井えつ子		
小金井市道路新設問題に関する陳情書	道路新設問題について、①東京都知事に対して Manifesto の再確認と見直しを再要請、②市長の態度を明確化、③「環境共生モデル都市宣言」の検討及び制定、④都市計画マスタープランの修正及び改定等を求める。	建	×	×	議	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
都市計画道路小金井3・4・1号線及び3・4・11号線の計画及び概略設計に関する陳情書	はげの森や野川などの自然環境と美しい景観が破壊される計画となっている都市計画道路3・4・1号線と3・4・11号線について、計画と概略設計を見直すよう東京都に対して申入れを行うことを求める。	建	×	×	議	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
天皇陛下御即位奉祝「賀詞」決議に関する陳情書	既に衆議院や参議院を始めとする各議会で天皇陛下御即位奉祝に関する賀詞決議がなされている。小金井市は、上皇陛下が終戦直後にお暮らしになるなど、皇室とは深いご縁があるため、市議会においても同様の決議を求める。	総	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	○	○	×	×	×	採択 (議長裁決※)	
議会「ゆるキャラ」の活用による分かりやすい議会広報の実施を求める陳情書	①市議会においても「ゆるキャラ」を活用すること、②素材として、市の鳥「カワセミ」や市の虫「カンタン」などをモチーフに公募による作画とすること、③過剰な予算はかけずに作成すること等を求める。	議	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	不採択	
市議会主催の議会報告会を定例議会終了ごとに実施すること等を求める陳情書	①令和2年度から、定例議会終了ごとに議会報告会を開催すること、②令和元年度の適切な時期に、庁舎及び福祉会館建設基本設計についての議員と市民の意見交換会を複数回実施すること等を求める。	議	×	×	議	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	不採択	
請願・陳情の審議未了の取扱を止めることを求める陳情書	一切議論も説明もせず、請願者又は陳情者の声をなかったことにすることのないよう、①請願又は陳情を「審議未了」とすることをやめること、②「審議未了」とするならば、請願者又は陳情者に対し、理由を明らかにすること等を求める。	議	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	不採択	
学務課職員による「任意の寄付」に返還請求権がなく、返還しないこと等を求める陳情書	学務課職員による「任意の寄付」に対し、①法的に返還請求権がないことを確認した上で事務執行するよう要請すること、②市の歳入とすること、③遅延利息の公費支払いについて、当該職員に損害賠償を求めること等を求める。	厚	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	×	○	×	不採択	

※ 可否同数の場合、議長が可否を決定します。
 【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 公：小金井市議会公明党 み：みらいのこがねい 共：日本共産党小金井市議団 お：小金井をおもしろくする会 会：こがねい市民会議
 情：情報公開こがねい 改：改革連合 ネ：生活者ネットワーク 市：市民といっしょにカエル会 緑：緑・つながる小金井

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿(校正中)を公開しています。
<http://www.city.koganei.tokyo.dbsr.jp/>



委員会等の構成の変更

議員の補欠選挙に伴い、12月24日の臨時会において、一部の委員会等の構成を変更しました。変更のあった委員会等における新たな委員は以下のとおりです。

市議会の委員会の委員

◎委員長 ○副委員長

名称	氏名			
総務企画委員	◎村山ひでき 湯沢 綾子	○片山 薫 たゆ 久貴	清水 がく 宮下 誠	鈴木 成夫 渡辺 大三
厚生文教委員	◎紀 由紀子 渡辺ふき子	○沖浦あつし 田頭 祐子	白井 亨 五十嵐京子	坂井えつ子 水上 洋志
建設環境委員	◎斎藤 康夫 小林 正樹	○吹春やすたか 遠藤百合子	岸田 正義 篠原ひろし	水谷たかこ 板倉 真也
議会運営委員	◎小林 正樹 吹春やすたか	○岸田 正義 斎藤 康夫	水谷たかこ 遠藤百合子	坂井えつ子 水上 洋志
庁舎及び福祉会館 建設等調査特別委員	◎白井 亨 坂井えつ子 斎藤 康夫	○渡辺ふき子 吹春やすたか たゆ 久貴	村山ひでき 湯沢 綾子 篠原ひろし	鈴木 成夫 小林 正樹 板倉 真也
行財政改革推進 調査特別委員	◎遠藤百合子 沖浦あつし 紀 由紀子	○水上 洋志 水谷たかこ 宮下 誠	清水 がく 田頭 祐子 渡辺 大三	岸田 正義 片山 薫

市長や教育委員会等が設置している各種審議会等の委員

名称	氏名			
都市計画審議会委員	清水 がく 渡辺ふき子 水上 洋志	村山ひでき 斎藤 康夫	白井 亨 片山 薫	吹春やすたか 紀 由紀子
消防団運営審議会委員	鈴木 成夫	遠藤百合子	渡辺 大三	
小金井市土地開発公社 評議員会評議員	鈴木 成夫 水谷たかこ 田頭 祐子 篠原ひろし	岸田 正義 坂井えつ子 五十嵐京子 渡辺 大三	沖浦あつし 湯沢 綾子 紀 由紀子 板倉 真也	白井 亨 斎藤 康夫 宮下 誠 水上 洋志

その他の委員

◎座長 ○副座長

名称	氏名			
広報協議会委員	◎渡辺 大三 岸田 正義 渡辺ふき子 片山 薫	○たゆ 久貴 白井 亨 小林 正樹 篠原ひろし	清水 がく 坂井えつ子 斎藤 康夫	村山ひでき 吹春やすたか 田頭 祐子

小金井市議会議員名簿

議席番号	氏名	所属会派	住所	電話番号	FAX番号
1	清水 がく	自由民主党・信頼の小金井	本町2-14-13 菱和パレス武蔵小金井502	042-383-5477	(同左)
2	村山ひでき	みらいのこがねい	本町6-13-17 サンライズ武蔵小金井702	042-386-5543	042-386-5560
3	鈴木 成夫	みらいのこがねい	貫井南町1-26-21	042-386-1356	042-301-9886
4	岸田 正義	みらいのこがねい	桜町1-10-24	042-383-1819	(同左)
5	沖浦あつし	みらいのこがねい	中町3-22-14-410 武蔵小金井ハイデンス	042-383-8411	
6	白井 亨	小金井をおもしろくする会	東町3-8-16 エストメルベージュ102	080-4004-5927	
7	水谷たかこ	小金井をおもしろくする会	東町4-30-13	042-315-6001	
8	坂井えつ子	緑・つながる小金井	桜町1-13-6	090-1796-7652	
9	吹春やすたか	自由民主党・信頼の小金井	貫井北町1-14-6 ハウスセルレア201	080-8116-0866	042-306-6680
10	湯沢 綾子	自由民主党・信頼の小金井	東町4-6-17 ソレイユ201	042-316-5504	042-316-5525
11	渡辺ふき子	小金井市議会公明党	緑町1-5-8	042-304-9568	(同左)
12	小林 正樹	小金井市議会公明党	桜町1-9-29 ベルビラージュ桜町101	070-6947-6078	042-387-7769
13	斎藤 康夫	こがねい市民会議	前原町5-20-32 (16)	042-382-0911	(同左)
14	田頭 祐子	生活者ネットワーク	貫井北町5-23-7	042-326-3132	(同左)
15	片山 薫	市民といっしょにカエル会	前原町5-9-6	090-2460-9303	
16	たゆ 久貴	日本共産党小金井市議団	貫井北町1-25-7 シルキーゼファーIV101号室	042-203-1362	(同左)
17	五十嵐京子	自由民主党・信頼の小金井	本町3-8-9-312 ニュー小金井マンション	042-384-9920	(同左)
18	遠藤百合子	自由民主党・信頼の小金井	貫井南町4-13-9	042-384-3401	(同左)
19	紀 由紀子	小金井市議会公明党	中町3-23-19	042-384-3812	(同左)
20	宮下 誠	小金井市議会公明党	貫井南町4-18-3	042-301-9882	
21	篠原ひろし	改革連合	本町4-13-9	042-385-1224	
22	渡辺 大三	情報公開こがねい	中町3-26-15 第三畑山コーポ301	090-3345-6929	042-381-5074
23	板倉 真也	日本共産党小金井市議団	貫井南町4-20-31	042-386-0404	(同左)
24	水上 洋志	日本共産党小金井市議団	東町5-17-9	042-301-9521	(同左)

市議会議員補欠選挙に伴う議会人事

新議員の紹介



しみず 清水 がく

当選 1回
会派 自由民主党・信頼の小金井
役職 総務企画委員
行財政改革推進調査特別委員
都市計画審議会委員
広報協議会委員



みずたに 水谷たかこ

当選 1回
会派 小金井をおもしろくする会
役職 建設環境委員
議会運営委員
行財政改革推進調査特別委員
小金井市土地開発公社評議員
会評議員

副議長就任ご挨拶



小金井市議会副議長
いたくら 板倉 真也

時代が「令和」に変わっても、市民生活に改善の兆しは見られませんが、暮らしを守るために、一層奮闘する決意です。同時に、新庁舎(仮称)新福祉会館建設... 設や議会改革では、様々な意見や考えがある中でも、一歩ずつ前に進むように全力を尽くします。12月の選挙戦を終え、小金井市議会に新たな顔ぶれが加わりました。言論の府にふさわしい、切磋琢磨する議会を目指していきたいと思っております。24人のエネルギーに、ぜひ注目ください。

役職 会派 年齢
建設環境委員、庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員他
日本共産党小金井市議団
60歳 7期目

新委員長の紹介

建設環境委員会の委員長を選出しました。



さいとう やすお 斎藤 康夫

一般質問

(5面～7面)

11月8日、11日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称	(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(情報公開)	情報公開こがねい
	(公明党)	小金井市議会公明党	(改革連合)	改革連合
	(みらい)	みらいのこがねい	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
	(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(市民カエル)	市民といっしょにカエル会
	(こがおも)	小金井をおもしろくする会	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
	(市民会議)	こがねい市民会議		

市のテントを運動会へ貸し出す仕組みを

吹春やすたか (自民党・信頼)

今年の秋の運動会は、日差しも強く暑い中で開催された。市では、各小・中学校に3張から6張、地域安全課では20張所有しており、単純計算でも合計62張以上のテント所有が確認される。市内14の小・中学校が同じ日に運動会を開催するわけではないので、対応を仕組み化して来年度からの運動会で実施していただきたい。

(ア)市内の小中学校での運動会での対応は、(イ)市所有のテントを運動会に貸し出せないか。(ウ)町内会や自主防災会などにテントの貸出しを要請できないか。(エ)テントの運搬も課題となると思う



現状では一部の生徒しかテントに入れない

が、協力できないか。学校教育部長 (ア)要望は以前よりあるが、全ての児童がテントの下に入れる状況ではなかった。総務部長 (イ)事前に調整し、必要に応じて貸し出したい。(ウ)協力をお願いすることは可能と考えている。(エ)学校関係者や市の職員で運搬の手伝いを検討したい。



子どもたち、みんなで見守り、地域の中で

遠藤百合子 (自民党・信頼)

子どもの安全・安心の確保は家族にとって最大の関心事で社会全体で取り組むことが必要である。(ア)子供を見守る家(カンガルーのポケット)の現状と今後の方向性は、(イ)下校時の見守り体制は、(ウ)防災行政無線でのふれあいメロディの活用を。(エ)安全・安心まちづくり条例の具体的動向は。(オ)安全・安心メールの現状と利用拡大への取組は。(カ)わんわんパトロールの現状は。(キ)民間事業者との連携の現時点の動向は。

学校教育部長 (ア)登録件数は11月1日現在で千191件である。相談する場所が2



か所であり、今後、これらの検討を考えている。(イ)各小学校の通学路安全点検結果を盛り込み、通学路安全マップを作成している。総務部長 (ウ)引き続きふれあいメロディの目的を市報やホームページで周知したい。(エ)こきんちゃんあいつつ運動の更なる周知を図りたい。(オ)11月1日現在の登録者は約1万370件で、引き続き広く市民の皆様にご利用されるよう周知に努める。(カ)小金井警察署で募っており、申込みをした団体には犬のリードに付けるパトロールグッズを貸与している。(キ)市内11の事業者に対し、犯罪や火災情報の通知体制を確立している。

庁舎と福祉会館の耐震システムを変更すべき

齋藤康夫 (市民会議)

基本設計では、新庁舎が免震構造、(仮称)新福祉会館は耐震構造となっている。同時期に一体として建設する建物の耐震システムを別構造とするのは「船頭が多くて船が山に登った」状態である。福祉会館の利用者は、障がい者、高齢者、子ども等である。震度6や7の地震に対し、耐震構造で建物自体は損傷を受けなくとも、人間は立っておられず、家具、什器や備品が転倒するような揺れに見舞われ、機能回復にも時間や費用がかかる。それに対し、庁舎は免震構造により職員は守られる。新庁舎と(仮



称)新福祉会館を違う耐震システムとすることの合理的、人道的理由はどこにあるのか。震災後の福祉会館の機能回復までどのように市民サービスを確保するのか。福祉会館の利用者に大地震の揺れの危険性、恐怖を感じさせてよいのか。市長 (仮称)新福祉会館は、総合耐震計画基準で耐震重要度係数がⅡ類に位置付けられているところ、Ⅰ類を目指して耐震性能の向上が含まれており、早期竣工を求める声に適切に対応できる連結免震を採用することが合理的であると、熟慮の末判断した。この基本設計を確実に成し遂げていけるように努力する。

防災の要、「自助」と「近助」の周知を急げ

鈴木成夫 (みらい)

台風19号接近に伴う市の対応と、今回浮き彫りになった課題は何か。総務部長 台風19号は、最大級の台風であることが気象予報で示され、市民からの避難所開設に関する問合せが相次いだことから、早い時期から避難所開設を検討し、10月10日に警戒本部を立ち上げ、自主避難所として小学校4校と土砂災害対応避難所として友愛会館と三楽集会所を開設する方針を決定した。自主避難所には水や食料、毛布等の用意がないことを中心に、多くの市民から問合せや苦情をいただいた。いずれも



事前周知の不足が大きな原因と捉えている。防災行政無線の聞こえづらさ、担当課にホームページの作成可能なパソコンが1台しかないことなど、混乱が多く、迅速で正確な情報提供ができなかったことが最大の課題だった。また、市民の中には、災害イコール避難所という意識や、避難所には物資が用意されているとの意識を持っている方がまだ多くいるのではないかと考えている。この状況を変えていくには、日頃からの広報や情報提供を根気よく続けるしかないところであるが、同時に、他市の施策等も研究し、より効果的な方法を探っていききたい。

市の財政運営について見識を問う

小林正樹 (公明党)

本年10月に行財政改革市民会議から提出された提言には、市の行財政改革は十分と言わざるを得ないと指摘されている。(ア)西岡市長就任後、自らが財政運営のメルクマールとして示した経常収支比率が急激に悪化していることは事実であり、市長が一番に掲げる「子育て環境日本一」を目指す一方で、経常収支比率が悪化するのでは仕方がないという趣旨の見解を示されたことは、公約との開きがあり、市民には受け入れがたい。今でも同じ見解か。(イ)市長は、職員の適正配置と削減による人件費削減を



進めると公約していたが、実際には、就任以降、人件費は約4億円増加している。来年度からスタートする会計年度任用職員の期末手当についても、総務省のマニユアルの解釈によると、市の財政を考えれば、段階的な対応が交渉できたにもかかわらず、一気に満額支給を提案している。財政運営において、職員人件費を今後どのようにコントロールしていくのか。市長 (ア)経常収支比率が悪化しているということについては、真摯に受け止めていく。(イ)大変厳しい指摘を頂いた。なお、職員人件費については、優秀な人材を確保する原資である。

高齢者・障がい者の住宅施策とペット防災

渡辺ふき子 (公明党)

①高齢者や障がい者を受け入れるセーフティネット住宅への登録が進まない。調布市の居住支援協議会(すまいサポート調布)を参考に、福祉と住宅施策を一体的に進めるべき。都市整備部長 福祉部門や居住支援法人と連携して始めた居住支援内連絡会議を活用して横断的な情報連携に努め、先進市の視察等も行いながら、情報収集や施策の研究を行う。②(ア)ペット同行避難訓練の実施強化とともに、避難所での生活を考え、飼育マナーやルールを学ぶ必要がある。動物愛護週間などを



利用し、市報等を通じて積極的に市民への周知に努めるべき。(イ)6月の動物愛護法改正により、生後56日以内の犬猫販売の禁止、動物虐待の罰則強化、販売業者に対するマイクログリップ装着及び所有者情報の環境省への登録等の義務、また、飼い主へもマイクログリップ装着の努力義務が課された。こうした情報を市民へ周知・啓発を行うべき。総務部長 (ア)機会を捉えて獣医師会に相談し、講師によるセミナーの開催等も含め、より市民への情報提供を図れるようお願いしていきたい。(イ)ホームページでの周知等、他市の周知方法も参考に研究する。

市議会から西岡市長へ問責決議が4件可決

宮下 誠 (公明党)

西岡市政4年間で、市議会が全会一致で可決した決議は28件、その中で市長宛てと明確に分かるものは18件であり、市政や市民生活の現状に即し、行政からの提案が不十分とする指摘や、議会からの具体的な提案、また、市長の行政運営に対して厳しく追及する内容等であった。(ア)決議の中で特に多いのが新庁舎(仮称)新福祉会館建設関連である。市長に猛省を促し、責任を問う決議等が全会一致で可決された。これらの決議について、市長はどう対応したのか、総括的に問う。(イ)18件のうち問責決議



は4件もあった。市長は、この4年間、リーダーシップを発揮してきたのか。市長 (ア)議会から厳しい指摘をいただいた。まずは本年度末までに基本設計を終えることを目指している。市民、行政、市議会が協力しながら、新庁舎(仮称)新福祉会館建設は絶対的に実現しなければならぬ。(イ)あるべきリーダーシップは、議会の多様な意見をまとめていく意見調整・合意形成であり、庁内全体を引っ張る役割が私に課せられた使命である。精一杯努力してきており、これからも努力していく。なお、問責決議については、真摯に受け止める必要がある。

市議会の本会議・委員会等の様子をYouTubeで配信しています。
<https://www.youtube.com/user/koganeishigikai>



新庁舎には3千㎡の 広場を残す工夫を

渡辺大三 (情報公開)
①蛇の目シン工場跡地
②はけと野川の自然と住環境を破壊する都市計画道路2路線の開設問題について。市長は道路として必要と考えているのか。必要ではないと考えているのか。市長 環境への配慮など市民の理解を深めるための意見交換の機会の継続を改めて強く要望した。

新庁舎建設予定地(蛇の目シン工場跡地)における広場は4千77㎡という広大な広場になっている。現在の技術提案書に基づいた広場は、一番大きい広場でも千270㎡しかない。子どもたちが伸び伸びと遊べるような使われ方はできなくなる。約3千㎡のまとまった広場を残していく工夫が必要なのではないか。どの程度の面積を整備したいと考えているのか。庁舎建設等担当部長は、市長から何か数字を掲げた指示は受けているのか。



4千㎡を超える現在の広場



台風19号で 明確になった課題とは

白井 亨 (二がおも)

ホームページへのアクセスができなかった件について。(ア)いざ情報を確認しようとしてもホームページへのアクセスが集中し、閲覧できなかった。その原因は(イ)東京都のキャッシュサーバー等の対策は、(ウ)緊急災害時のエリアメールが小井市からは届かなかつたのはなぜか。(エ)防災マップの「浸水想定区域図」の実態との整合性は。

広報秘書課長 (ア)東京都との共同運営の自治体情報セキュリティクラウドが原因と指摘されている。(イ)東京都と協議の状況を見据えて、慎重に検討する。



浸水想定区域図と実態に乖離があることも課題

総務部長 (ウ)1台のインターネット接続用のパソコンで避難準備情報、安全・安心メール、ツイッター等を発信しており、エリアメールまで手が回らなかった。(エ)東京都が氾濫解析法の見直し等を行い、本年6月に新たに公表している。市でも来年度防災マップを改訂し、全戸配布する。



大人の引きこもり支援 について

紀 由紀子 (公明党)
会公明党は、引きこもり訪問相談を6月3日から35歳以上についても支援を拡大したことに伴って、QRコードの付いた案内チラシを配った。受付は各市町村の窓口であるため、市の窓口とした対応が必要である。(ア)現状はどうか。(イ)課題は何か。(ウ)相談事業や家族会への周知を。(エ)相談事業の支援の拡充を行わないか。

平成30年の調査で、15歳から64歳の引きこもりの推計は全国で約15万人に上り、そのうち中高年者の引きこもりは61万3千人とされている。こうした人たちは社会から孤立しがちである。また、引きこもりに対する社会の否定的なイメージがあり、窮地に立っていても「助けて」と声を上げられない傾向がある。この中高年の引きこもり問題に早くから警鐘を鳴らしていた著名な精神科医は、学校でのいじめ、職場でのパワハラなどが引き金となり、引きこもることで自分で自分を守っていると述べる。都議



市長公約「子育て環境 日本一」を問う

板倉真也 (日本共産党)

(ア)認可保育園保育料の値上げは、「市民の生活をきっちり守る」、「子育て環境日本一」とどう結びついているのか。(イ)「子育て環境日本一」には、子育て世帯の国民健康保険税の負担を軽減し、暮らしやすい市にするという概念はないのか。(ウ)「子育て環境日本一」の実現には、多子軽減導入が不可欠では。(エ)小学校1年生から3年生までの医療費無料化をどう見ているのか。

市長 (ア)保育料の値上げは、約15年間にわたり見直しが行われておらず、市の置かれた状況、また保育の充実を図る上で必要なもの

であると思っている。保育料の増額分については、子育て環境の充実全てに充当されていると考えている。(イ)国民健康保険制度の持続可能性を確保し、安定的な制度運営を可能とすることが重要。国民健康保険特別会計の健全化に努め、一般会計からその他繰入金金の縮小削減が進むことは、国民健康保険加入者を含む全ての子育て世帯に向けた施策充実にもつながると考えている。(ウ)子育て世帯の負担軽減策は、国が制度として盛り込むべきものと認識している。(エ)医療費に関するものは、国や東京都などで全体的な統一を図っていく必要がある分野と考える。



スポーツ環境の 充実を求める

たゆ久貴 (日本共産党)
スポーツは素晴らしいものである。趣味というだけでなく、人間的な成長や、健康増進という点では福祉的な要素もあり、また災害時には施設が避難場所にもなり得るので防災対策にもなる。市は市民のスポーツ環境整備に責任がある。市民から、スポーツがやりたくても場所が足りていないという声をよく聞く。公共施設等総合管理計画では、スポーツ施設の集約化や機能の移設を検討するとしているが、そのような縮小の方向ではなく、充実していく計画を持つべきではないか。市内の大学などのグラ

ウンドや体育館を市民が利用できるように市として要請・調整するなどの努力が必要ではないか。生涯学習部長 公共施設等総合管理計画の基本的な方針に留意し、まずは既存施設について安全・安心に利用できるように整備することが最優先であり、長期修繕計画の作成に取り組んできた。民間や大学における類似施設を開放していただくことは重要な方法であると考えており、これまでも複数回お話をさせていたでている。引き続き努力していきたい。



小金井市でも 「気候非常事態宣言」を

坂井えつ子 (緑・つながる)

大型台風、連続する真夏日やゲリラ豪雨など、異常気象は年々深刻化している。世界で千100を超える国や自治体が「気候非常事態宣言」を行っている。市の姿勢を示し、今後の取組を充実させる後ろ盾となり、市民への周知啓発にもなる。気候変動に対する更なる取組を。(ア)市でも「気候非常事態宣言」を行わないか。

環境部長 (ア)趣旨は前向きに受け止め、宣言については研究課題としたい。

市長 (イ)宣言については、積極的に受け止めている。市民の方々と環境全般について共有できるものを目指していくべきである。(ウ)気候変動対策は待たなすである。公共施設における温室効果ガス排出削減は率先して改善すべき課題の一つである。公共施設の中で60%以上を占める学校、スポーツ関連施設について、教育委員会との連携が必要であり、教育長に取組を進めていただきたいと常々話をしている。また、新庁舎・(仮称)新福祉会館の建設や公共施設の長寿命化に当たっても、計画的に取り組み、気候変動への対策を強力に推し進めていきたい。



時代の要請に応えた 革新市政

水上洋志 (日本共産党)
1971年から1979年までの革新市政時代に人件費が増えたことについて見解を問う。(ア)革新市政以前の保守市政においても、500人を超える職員が増えていた。人口急増の時代で、下水道整備や学校、保育園建設など、全体として時代の要請と言えらるのではないか。(イ)職員増に伴う定数条例は、議会はほとんどが全会一致で認めてきた。特に清掃公社の直営化と警備職員の正規職員化により、200名を超える職員増となった。清掃公社については、様々な不正などで解散に至り、直営化せざるを得なかった

ものである。社会党、共産党、公明党も賛成し、直営化が行われた。市長が、議会の理解を得ながら、時々々の課題を乗り越えてきたということではないか。(ウ)現在、定数管理や人件費の問題については、国から様々な統制を受けていると考える。過去の問題を現在の視点で見ることができないのではないか。



もっと子どもに 自由な外遊びを

田頭祐子 (生活者ネット)

(ア)都市部では8割、農村部では6割の小学生が、平日の放課後に外遊びをしていないとの調査報告がある。文部科学省は幼児期運動指針ガイドブックで、1日60分以上体を動かすことを推奨している。子どもの外遊びの実態調査を行い、楽しく身近にできる運動や外遊びを進めるガイドブックなどを市民協働で作らないか。

国は拠点を持たない野外保育「森の幼稚園」を無償化の対象外とした。保護者の選択肢を広げるためにも、国や東京都への働きかけを。台風による倒木で閉鎖中の、いけとおがわプレーパ

学校の早期再開を求める要望書が届いている。市の土地でなくとも、必要な事業の再開のために整備費を出せるよう仕様書や協定書の見直しが必要ではないか。学校教育部長 (ア)国や東京都のリーフレット等を参考に調査・研究したい。



子ども家庭部長 (イ)地域や保護者のニーズに応え、重要な役割を果たしているものもある。国と地方で協力した支援の在り方を検討中との報道を確認した。動向を注視したい。(ウ)冒険遊び場事業として、子どもが遊ぶ最適な環境と認識しているが、整備費の規定がなく、協議中であり、丁寧に

対応する。

特集1

平成30年度(2018年度)決算不認定の大きな要因となった 市職員による不適切な会計事務処理問題

小金井市教育委員会学校教育部学務課の職員が市内の小・中学校で平成30年度(2018年度)に使用された上下水道料金の決済伝票を机の引き出しに入れたまま会計課に提出する手続を失念、東京都水道局からの督促状で気づき、私費で支払をしていたことが発覚しました。小・中学校の電話料金も私費で支払い、その合計約92万円に加えて、本年4月分の小・中学校ガス料金及び電話料の支払遅延により延滞利息金約2万8千円が発生していたことも明らかになりました(当該職員は令和元年8月末で依願退職)。

経過と議会の動き

原因は

本来ダブルチェックを行うべき会計事務処理業務を年度替わりの繁忙期などの理由で、当該職員1人で行っていました。当該職員は、支払を失念していた事実を上司や同僚に相談・報告せずに私費で支払を行った上、当該職員が支払ったことを証明する領収書等を破棄していたため事実確認に時間を要しました。

決算特別委員会が異例の継続審査

教育費の決算審査が行われる10月3日以降3度の保留の後、第3回定例会内での答弁に至らず、第4回定例会に継続審査となる異例の事態に。11月7日の決算特別委員会にて、市の対応方針が示されるも、市の法令遵守や事務執行の在り方が論点になりました。

再発防止

市長の指示により副市長を委員長とする小金井市コンプライアンス推進委員会を既に設置。単に法令遵守にとどまらず、庁内組織における要綱や通知、ルール及び社会規範を遵守することを包含する取組を、市長部局のみならず行政委員会あるいは教育委員会を横断的に全庁的に推進していくとしています。

今後の対応方針は

市は、私費払の約92万円の本来の債務者は当該職員ではなく小金井市であり、小金井市と記載された各債権者発行の請求書等を用いて支払を行っているため、当該職員が小金井市の債務を弁済していることは明らかとしています。したがって、市は民法第697条に規定する事務管理に該当すると判断して元職員へ返還する方針を示しました。

延滞利息金については、当該職員が私費払や事務処理漏れの発覚を恐れて期限内での支払を極めて困難にし、延滞金を発生させたものと認定しました。したがって市は民法第709条に規定する不法行為に基づく損害賠償に該当すると判断して元職員に請求する方針を示しました。

以上の方針に基づき、該当職員から請求のあった場合に支払を行うための約92万円と、該当職員が発生させた延滞利息金約2万8千円を収入する一般会計補正予算案(第7回)を11月27日の本会議に上程し、同日の予算特別委員会および29日の本会議で可決しました。

日付	内容
6月 3日	課内で不適切な会計処理が発覚
8月26日	議会へ第一報が報告
9月 2日	会派代表者会議で経過報告
9月18日	会派代表者会議で追加報告
9月24日	全員協議会
9月30日	決算特別委員会 冒頭にて複数議員より法的根拠に基づく対応方針を示すよう要望され、保留
10月 3日	決算特別委員会 答弁に至らず保留
10月 4日	決算特別委員会 答弁に至らず保留
10月 8日	決算特別委員会 答弁に至らず第4回定例会へ継続審査
11月 7日	決算特別委員会 問題解決への方針を示す
11月11日	決算特別委員会 採決にて一般会計決算が不認定
11月29日	本会議採決にて一般会計決算が不認定 問題解決を図るための一般会計補正予算案(第7回)を可決

特集2

三宅村友好交流視察

小金井市と三宅村は、1978年に友好都市盟約を結び、2018年10月に40周年を迎えました。毎年、相互理解と親善を深めるために、小金井市から三宅村に伺っており、2019年10月に行われたなかよし市民まつりには、三宅村からお越しいただいています。2019年は11月15日～17日、市議会からは5人の議員が第20回産業祭に参列、火山噴火からの復興の様子等を視察しました。



○ 第20回産業祭



○ 小金井小次郎の井戸

幕末の侠客小金井小次郎は、喧嘩の罪で三宅島に流される。在島中に、水に悩む村民の姿を見て大きな井戸を作り、村民を救いました。



○ 溶岩流にのまれた阿古集落

1983年の噴火によって、阿古集落は一夜にして溶岩流にのみ込まれました。数か月前に実施した避難訓練の成果もあり、ひとりの死傷者を出さずに、避難できたとのこと。



原稿は議員が作成しております

次の定例会は令和2年2月19日(水)開会予定です。